

# 府養研ニュース

平成19年7月23日発行  
大阪府養護教育研究会  
会長 坂ノ上 泰博  
(摂津市立第三中学校)

8月号の発行日は未定です。

ホームページもご覧ください。<http://fuyouken.visithp.jp/>  
夏休み研修の補完として7月臨時を発行します。

ニュースや本会活動への問い合わせ・ご意見は、Mailにて  
件名に「府養研問合せ」など「府養研」を入れてください。**アドレスを変更しました。**  
**jimukyoku07@fuyouken.visithp.jp**  
アドレスをテキストで載せるとスパムメールが多数届いてしまうので、画像で張り付けてあります。  
お手数ですが、手入力をお願いします。

## 平成19年度 府養研役員総会 府養研支部役員、本部役員

年間活動等の計画を立てます。支部長様からは毎回支部報告をお願いしております。

第2回平成19年 9月 6日(木)午後3時～5時      アウィーナ大阪 信貴の間

第3回平成20年 1月17日(木)午後3時～5時      アウィーナ大阪 生駒の間

## 府養研55周年記念大会      申し込みまれましたか？

**当日飛び込み参加や申し込みが遅い場合、希望の分科会が満員の場合があります。**

平成19年8月7日(火) 午前9時30分～午後4時30分

「大阪の特別支援教育のあり方を求めて」 ー続・支えの教育の発信ー

午前講演 「気になる子どもへの社会性指導の実際」

宮川医療少年院院長 特別支援教育士スーパーバイザー 小栗正幸 氏

※通常学級の先生(生徒指導)にもおすすすめです。

午後分科会 8分科会 大会HPもご覧ください 2次案内より詳細な説明があります。

<http://fuyouken.visithp.jp/55/> 会場 大阪国際会議場 参加資料代 500円

※参加者には府養研DVD1枚を進呈します。枚数は充分足りると思いますが、当日先着順にお渡ししますので、必ず欲しい方は遅れずご参加ください。

※分科会5「教材教具の工夫と活用」は、材料費800円～1500円とはさみ、カッターナイフ、両面テープ、定規、その他の道具が必要です。詳細はホームページでお確かめください。<http://fuyouken.visithp.jp/55/05.htm>

**自閉症プロジェクト教育講演会終了**

2007年7月21日(土)たかつガーデン

**クラスでのアスペルガー症候群、高機能自閉症への気づきと支援**

松本 恵美子氏(神戸市西区保健福祉部 査察指導員)

多数の参加を得て、終了いたしました。夏休み開始の一日、ヒントを持ち帰っていただけた研究会となったことと思っております。また、参加者数の多さに、今の学校でのニュースの高さを感じた研究会でもありました。最後に、会場の定員を大きく上回る参加者があり、いすに座れない方が非常に多く、ご迷惑をおかけいたしました。

**ICT 活用プロジェクト夏期講座****先月の案内をご覧ください。申し込み必要、分科会の定員に注意。**

平成 19 年 8 月 16 日(木)・17 日(金) 9:30~17:00 高槻市立芥川小学校

「二学期から役立つ ICT 活用」 e-mail または fax にてお申し込み下さい。

Flash 制作、ソフト活用、スイッチ製作、VOCA の作成、マウス改造、ワンコイン教材  
国語指導、学校での ICT 活用など、8 講座。

※なお、講座 F「ワンコインで教材製作」は、既に定員に達しましたので、締め切っております。他に定員まであと少しの講座もありますので、申し込まれる時に HP の申し込み状況をご確認ください。→ここです。<http://fyouken.visithp.jp/kenkyukai/ict07.htm>

※会場は 8 月初旬にホームページに UP します。

**施設見学研修会 大阪府立たまがわ高等支援学校**

平成 19 年 8 月 23 日(木)13:50 集合~17:00 終了 7 月 22 日(日)締め切りました。

※参加の可否は、7 月 27 日までにお知らせします。

**ICF(国際生活機能分類)の概要と教育への活用の実際 一次案内添付**

ICF を教育においても活用することにより、子どもたちの理解や豊かな支援を進めていける可能性があります。今回、ICF の教育への活用の研究を重ねておられています、徳永亜希雄氏をはじめ、共に研究をされている方々に来ていただいて、教育講演会を開催します。

2007 年 10 月 6 日(土)10:00~16:30(受付 9:30~) 於 高槻現代劇場

午前 基調講演

演題 ICF(国際生活機能分類)の概要と教育への活用動向

講師 徳永亜希雄氏 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所主任研究員

午後 3分科会 講師陣 多数 (一次案内をご覧ください)

8 月中旬より受け付け開始予定

詳細は、二次案内及び HP にてお知らせします。 <http://fyouken.visithp.jp/kenkyukai/icf07.htm>

以下は他団体の案内です。

**アスペ・エルデの会設立15周年記念セミナーズ:from 1992 to the future 大阪会場のご案内**

主催:アルクラブ(アスペ・エルデの会大阪支部) 共同主催:NPO 法人アスペ・エルデの会

「広汎性発達障害児のコミュニケーション・ソーシャルスキル支援」

「就労支援の基礎を知る“思春期の発達支援”」

平成19年8月5日(日) 午前10時30分～午後4時(受付 10時～)

守口市市民会館(さつきホールもりぐち) 2階 22号室

参加費 賛助会員・一般共 2,000円 インターネット申し込みのみ。

現時点でほぼ定員に達しています。参加は予約制です。当日、飛込みでの参加はできません。

<http://www.geocities.jp/alclubosaka/1.html>

**第44回近畿ブロック研究協議会神戸大会 第35回神戸市特別支援教育研究大会**

平成19年8月2日(木) 9時15分～16時00分 **案内は紙で配布されています。**

於 ポートピアホテル(全体会、分科会とも) 参加資料代 3500円

テーマ「一人一人の子どものニーズに応える特別支援教育の発展をめざして」

主催 近畿特別支援教育連絡協議会 神戸市特別支援教育研究協議会

全日本特別支援教育研究

<http://www.kobe-c.ed.jp/research/stkyo/>

講演 特別支援教育が本格的にスタートした～今、教師としてできること、学校としてできること～

兵庫教育大学大学院教授(前文部科学省特別支援教育調査官) 拓殖 雅義先生

午後 8分科会 詳細は上記URLにて

**第40回全国情緒障害教育研究協議会 案内は紙で配布されています。**

<http://www.hyojyoken.ac.fm/> ここからもダウンロードできます。

平成19年7月31日(火)～8月1日(水) 会費 5000円(2日目のみ2500円)

於 尼崎市記念公園総合体育館 アルカイクホール・アルカイクオクト

尼崎市中小企業センター

テーマ「一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導と支援のあり方」

～自閉症・HFPDD・LD/ADHD・不登校等、情緒的な課題のある子どもたちの理解と支援～

※基調講演「新しい学習指導要領の方向(仮題)」

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官 石塚謙二氏

※記念講演「学校で気になる子どもたちの理解と対応」

筑波大学心身障害学系教授 宮本信也氏

※その他 フォーラム 基礎講座 特別講演あり

主催 全国情緒障害教育研究会兵庫県情緒障害教育研究会

**マジカルトイボックス第24回イベント**

2007年8月11日(土) 10:00~18:00 国立オリンピック記念青少年総合センター  
 一般展示・実演、AACセミナー、パネルディスカッション(製作講座、体験セミナー)

参加費 2000円(資料代を含む) マジカルトイボックス事務局 ([event24@magicaltoybox.org](mailto:event24@magicaltoybox.org))

【詳しくは】 <http://www.magicaltoybox.org/mtb2007-8event.html>

今回の聞き所は事務局の小松敬典氏の講演とアドバイザー諸氏のパネルディスカッションです。

**養護教育講座 主催 財団法人 大阪養護教育振興会**

平成19年8月31日~平成19年12月14日の間 毎金曜 18時30分~20時30分 15回

場所 財団法人大阪養護教育振興会 <http://www.osaka-yougo.or.jp/>

受講料 全講座 20,000円 選択講座 一講座2,000円 **内容や申し込みについては先月案内参照**

定員50名(定員になり次第締め切り)

**発達を支援するムーブメント教育・療法実践講座**

平成19年8月25日(土) 13:00~16:30

平成19年8月26日(日) 9:15~16:10

大阪国際会議場 1202会議室

受講料: 学生 7,000円 一般 10,000円 会員 9,000円

8月25日(土) 13:00 受付

(実技・実践報告)特別支援学校での実践

附属特別支援学校児童生徒と一緒に 金川 朋子

実技指導のポイント 小林 芳文

講演・実技 ムーブメント教育論 I

M.Frostig 理論とアセスメント 小林 芳文

お問い合わせ (参加申し込み)

大阪ムーブメント教育研究会

金川朋子 (J A M E T 上級指導者)

E-mail [kogorou123@nifty.com](mailto:kogorou123@nifty.com)

TEL 090-9984-1183

8月26日(日) 9:15 受付

講演・実技 ムーブメント遊具・教具の活用

音楽ムーブメントについて 飯村 敦子

実践報告 教科学習に生かすムーブメント教育の実践

上原 淑枝

質疑応答

小林 芳文

実践報告 障害乳幼児に生かすムーブメント教育

大和 洋子

保育の中に生かすムーブメント教育

吉田 久美子

講演 ムーブメント教育論 II 感覚運動プログラム

重度重複障害の子どもたちへの支援

小林 芳文

実技 学校に・地域に・家庭に生かすムーブメント教育  
 の実践 (ママッピー-OSAKA)

足立 朋子 井澤 郁子

フィナーレ

梅川 佳子

平成 19 年（2007 年）7 月 21 日

大阪府養護教育研究会会員 様  
特別支援教育関係者 様

大阪府養護教育研究会  
会 長 坂ノ上 泰博

大阪府養護教育研究会秋季教育講演会（一次案内）

## ICF（国際生活機能分類）の概要と教育への活用の実際

ICF（国際生活機能分類：International Classification of Functioning, Disability and Health）は、人間の生活機能と障害の分類法として、2001 年 5 月、世界保健機関（WHO）総会において採択されました。その特徴は、これまでの WHO 国際障害分類（ICIDH）がマイナス面を分類するという考え方が中心であったのに対し、ICF は、生活機能というプラス面からみるように視点を転換し、さらに環境因子等の観点を加えたことにあります。この ICF を教育においても活用することにより、子どもたちの理解や豊かな支援を進めていける可能性があります。

今回、ICF の教育への活用の研究を重ねておられています、徳永亜希雄氏をはじめ、共に研究をされている方々に来ていただいて、教育講演会を開催します。

多数の方々の参加をお待ちしております

### 記

1. 日時 2007 年 10 月 6 日（土）10：00～16：30（受付 9：30～）

2. 会場 高槻現代劇場  
高槻市野見町 2-33  
HP：http://www.city.takatsuki.osaka.jp/bunka/theater/cs/  
阪急京都線「高槻市」駅南へ約 500m  
JR 東海道本線「高槻」駅南へ約 1km

### 3. 内容

基調講演（10：00～12：00）

演題 ICF（国際生活機能分類）の概要と教育への活用動向

講師 徳永亜希雄氏

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所主任研究員

会場 高槻現代劇場文化ホール レセプションルーム（3F）

## 分科会（13：30～16：30）

分科会 1 知的障がいがないもしくは知的障がいが軽い発達障がいのある子どもを ICF を使って理解すると

分科会 2 ICF 関連図作成ワークショップ  
— 子ども理解、支援計画作成に ICF を使ってみよう —

分科会 3 授業に活かす ICF  
— 個別の教育支援計画や個別の指導計画にどう活かす —

講師陣 徳永亜希雄氏（独立行政法人国立特別支援教育総合研究所）  
齊藤博之氏（山形県立上山高等養護学校教諭）  
遠直美氏（三重県立草の実特別支援学校教諭）  
大久保直子氏（筑波大学附属久里浜特別支援学校教諭）  
高山恵子氏（NPO 法人えじそんくらぶ代表）  
下尾直子氏（日本女子大学大学院）  
宮岸尚平氏（北海道函館養護学校教諭）

会場 高槻現代劇場文化ホール展示室（2F）  
高槻現代劇場市民会館 207 号室（2F）・305 号室（3F）  
※会場の大きさに差がありますので申し込み状況で決定します

4. 参加費 無料

5. 申し込み 8 月中旬より受け付け開始予定  
詳細は、二次案内及び HP にてお知らせします  
<http://fuyouken.visithp.jp/kenkyukai/icf07.htm>

6. 問合せ 件名「府養研講演会問合せ」とし、できればメールでお願いします。  
高槻市立芥川小学校 田村真一（大阪府養護教育研究会書記）  
Mail : [jimukyoku07\\*fuyouken.visithp.jp](mailto:jimukyoku07*fuyouken.visithp.jp)  
(※を@に変更して下さい)  
Fax : 072-682-1407

参考 HP ※「国際生活機能分類－国際障害分類改訂版－」（日本語版）の厚生労働省ホームページ掲載について  
<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2002/08/h0805-1.html>  
※徳永亜希雄氏の紹介（国立特別支援教育総合研究所 HP より）  
[http://www.nise.go.jp/blog/2005/03/post\\_59.html](http://www.nise.go.jp/blog/2005/03/post_59.html)  
※ICF 児童青年期バージョンの教育施策への活用に関する開発的研究（国立特別支援教育総合研究所 HP より）  
[http://www.nise.go.jp/blog/2006/06/icf\\_1.html](http://www.nise.go.jp/blog/2006/06/icf_1.html)  
※ICF-CY Japan Network  
<http://www.icfcy-jpn.org/wp/>  
※ICF を考える？ICF で考える？？  
<http://yaplog.jp/icfasianetwork/>

## 発達を支援するムーブメント教育・療法実践講座

大阪会場 平成19年8月25日(土)・26日(日)

8月25日(土) 13:00 受付

13:30	(実技・実践報告)	特別支援学校での実践	
14:50		* 附属特別支援学校児童生徒と一緒に	金川 朋子
14:50	(解説)	実技指導のポイント	小林 芳文
15:20			
15:20	(講演・実技)	ムーブメント教育論 I	
16:30		M.Frostig 理論とアセスメント	小林 芳文

8月26日(日) 9:15 受付

9:30	(講演・実技)	ムーブメント遊具・教具の活用	
10:50		音楽ムーブメントについて	飯村 敦子
11:00	(実践報告)	教科学習に生かすムーブメント教育の実践	
11:40			上原 淑枝
	(質疑応答)		小林 芳文
12:00	(昼食)		
13:00	(実践報告)	障害乳幼児に生かすムーブメント教育	大和 洋子
		保育の中に生かすムーブメント教育	吉田 久美子
14:00	(講演)	ムーブメント教育論 II	
		感覚運動プログラム	
		重度重複障害の子どもたちへの支援	小林 芳文
15:00			
15:10	(実技)	学校に・地域に・家庭に生かすムーブメント教育の実践 (ママッピーOSAKA)	足立 朋子
16:10			井澤 郁子
16:00	フィナーレ		梅川 佳子